

このコーナーでは、市内で働く元気なフレッシュな皆さんを紹介していきます。今回は、幼稚園に勤務している、高野千里さんと綿貫みづ希さんに、お話をうかがいました。



綿貫みづ希さん 高野 千里さん
 【金井・21歳】 【更科・23歳】



◆今の仕事を選んだ理由は何ですか。
 幼稚園の先生に、あこがれて幼稚園教諭になりました。子どもたちといろいろな発

◆今の仕事を選んだ理由は何ですか。
 幼いときからの夢で、幼稚園教諭になりたかったからです。子どもたちとのふれあい

◆見があり、充実しています。休日はどのように過ごしていますか。趣味はありますか。
 絵本が好きなので、絵本を集めています。テニスをしていたので、機会があれば、また始めたいです。

◆今後の抱負をお願いします。
 分からないことがたくさんありますが、一人一人の気持ちにより添い、子どもがやりたいと、言ってくれる保育ができるようになりたいです。

◆休日はどうのように過ごしていますか。趣味はありますか。
 友達と食事に出掛けたり、ショッピングを楽しんでいます。体を動かすことが好きなので、スノーボードを始めたいです。



◆休日はどのように過ごしていますか。趣味はありますか。
 友達と食事に出掛けたり、ショッピングを楽しんでいます。体を動かすことが好きなので、スノーボードを始めたいです。

広報クイズ
 ■今月のプレゼント
 月の兔ボールペン5名

問題
 7年ぶりに地球へ帰還した惑星探査機は「●●●●」です。

クイズの答えと、住所、氏名、年齢、電話番号を記入のうえ、日ごろ感じていることを書き添えて、次の宛先まで送付してください。
 ※当選はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

383-8614 中野市三好町一丁目 3番19号
 中野市役所 庶務課秘書広報係
 住所・氏名・年齢・電話番号

継承 中野が誇る伝統文化

第26回 わら工芸制作者 高田治平さん

わら工芸とは
 しめ縄やわら馬と同様、わらを1本ずつ丁寧に束ねた「わら工芸」。小学生のころ、春から冬になって雪が降るまでの間、学校から帰宅すると毎日のように田んぼに出かけ、わらと接していました。また、わら草履も自分で作ることが多く、わらは生活に欠かせないものでした。大人になってから、わら馬やしめ縄をよく作ってきましたが、今から5年前、退職したのを機に、周りからの勧めで、干支の動物をわらで作ることにしました。作り方は完全に独自のものです、まず構図を考え、わらを1本ずつ織り込み、つがいで同じ形を200個程度制作します。寅の場合は、ひげ、尾、耳、鼻など



▲今年の干支「寅」が自慢の作品と語る高田さん

パーツごとに作り、最後にそれぞれ合体させます。自分が納得したものを作るには時間がかかるため、一日に13個ほどしか作れません。完成後は、近所や知人をはじめ、病院や薬局、地元郵便局にもあげています。現在は、中野陣屋・県庁記念館入口にも展示してあります。

◆わら工芸の魅力とは
 自分自身の場合、皆に喜んでもらえることが大変嬉しく、来年も作りたという気持ちがいってきますし、完成したときの達成感が何とも言えません。酉年から作り始めたため、現在は酉、戌、亥、子、丑の5種類しかありませんが、干支を一周させるまで現役で頑張りたいと思います。毎日を通して作ることができます。

◆皆さんへのメッセージ
 わら工芸は、時間が経つのを忘れるほど熱中してしまいます。私にとっても、まさに生きがいと呼べるものです。干支をテーマにしたわら工芸は珍しいものだと思います。興味がある方は、ぜひ一度ご覧いただきたいと思っています。

市民リレーインタビュー 走者 キャッチボール

No.34 杉山 麻友美さんから紹介された



小林 義照 さん
 (スミングインストラクター・一本木)

- ①自己紹介
 生まれも育ちも中野市です。中野市が大好きです。妻と子ども2人の4人家族で、毎日楽しく過ごしています。
- ②今後チャレンジしたいこと
 知識や教養を広めるため、毎月本を3冊は読めるようにしたいと思います。あと、野菜づくりにも挑戦してみたいですね。
- ③これからのまちづくりに望むこと
 口蹄疫のような問題が発生し、市民が困ったときは、十分なバックアップをお願いしたいと思います。また、市民同士のつながりが強い街にしたいと思います。



平野小学校 5年 小林 莉穂さん

◆パティシエールになりたい
 わたしの夢は、パティシエールです。なぜかというところ、おかし作りが大好きだからです。でも、今のわたしは、おかし作りにはあまり自信がありません。だから、友達に作ってあげようと思っても、はさかしくできませんでした。

◆夢
 No.63
 作ってあげたことがあります。友達に、わたしが作ったおかしを、「おいしい。」と言ってくれました。それから、おかし作りにもちよつと自信が持てるようになりました。